



校舎名『のとニコニコ小学校』に決定！

～七尾からの善意でカンボジアに学校が完成～ 平成23年3月18日（金）

昨年9月に七尾市で開催された『渡邊美樹チャリティー講演会』での寄付金や『公益財団法人School Aid Japan金沢支部』からの寄付金で、このたび、カンボジアバットバン州に小学校が完成。校舎名が『のとニコニコ小学校』に決定し、カンボジアで贈呈式が行われた。

『公益財団法人School Aid Japan』は、カンボジアやネパールで139校の建設に携わり、この学校が140校目。七尾市で開催された講演会がカンボジアの子どもたちの大きな夢の実現となった。

場所：カンボジア王国
バットバン州
コンムリエン村



校舎完成を喜ぶ子どもたち



贈呈式会場



のとニコニコ小学校



ちよんこ山物語

江戸時代から伝わる『ちよんこ山』をまとめた冊子が完成！ ～地域の祭りを後世に～

平成23年3月18日（金）



市長へ冊子完成報告



宮下三郎さん（執筆者）

御祓地区6町会で練り歩く『ちよんこ山』。この祭りの継承と伝承を活動目的に一昨年発足した『ちよんこ山保存会』が、『ちよんこ山物語～祭りの由来と変遷』と題した冊子を製作した。

「江戸時代から続く歴史あるちよんこ山だが、昔の文献などの資料がなかったため、資料集めなど、冊子を作るのが大変だった」と話す宮下三郎さん（執筆者）。この冊子が『ちよんこ山』を後世に伝える文献第1号となった。



整列するちよんこ山



4月3日(日)：南大呑分団器具置場前

入魂式とは、新しく配属された自動車が無事壊れることなく、有事のときにはその能力を発揮し活躍することを祈る儀式のこと。南大呑分団は、森下孝城分団長を筆頭に14人が地域の安全安心のために活動している。今まで使用していた消防ポンプ自動車は18年が経過。老朽化に伴い新車を導入した。小春日和の中、入魂式が行われ、団員は「これからも地域の皆さんのために奉仕する」と誓いながら、初めての放水を行った。

南大呑分団消防ポンプ自動車入魂式 ～地域の安全安心のために～



3月27日(日)：七尾サンライフプラザ敷地内

昨年自主防災組織を立ち上げた天神川原町では、自主的に消防署員を招き、AED（自動体外式除細動器）講習会と防災訓練を行った。東日本大震災直後の訓練だったため、参加者は「もし、七尾市にあのような災害が起きたら？！火災が起きたら？！」とイメージをしながら、実技を行った。皆さん、もしもの時、対応できますか？市内の自主防災組織は41団体。年々増加傾向にあり「私たちの地域は私たちで！」という意識が高まりつつある。

天神川原町自主防災訓練 ～もしもの時、対応できますか？～



4月7日(木)：舟尾町

坂口惣治さん(舟尾町)は、市内の園児たちに野菜を育てる体験をしてもらうため、個人で所有する畑を解放している。今年で7回目。田鶴浜保育園、あくら保育園、和倉保育園の年長児49人が約20キロの里芋を植えた。田鶴浜保育園の西田行翔君は「野菜を植えたのは初めて。楽しかったし、お芋ができるのが楽しみ」とたくさんできることを期待していた。収穫は8月中旬ごろ。収穫では、豊作となり園児の驚く顔を期待したい。

ふれあい里芋植え体験 ～感謝の心を育てるために～



4月5日(火)：七尾市立中島小学校

『市民のねがい推進協議会』は、新小学1年生に『しあわせのハンカチ』を贈呈した。代表で手渡した稲田秀子さんは「市民憲章の中で、大人も子どもも手をつなぎ、しあわせの和を広げようとなりますが、クラスで仲良く手を取り合って楽しい小学校生活を過ごしてくださいね」と祝辞を述べた。新1年生代表の川端俊介君と坂口大和君は元気よく「はい！」と答え受け取った。入学した市内426人の新1年生は豊かな未来への第1歩を踏み出した。

『しあわせのハンカチ』を贈呈 ～子どもの幸せを願って～

百寿 100回目の誕生日、おめでとうございます。



堀 まさのさん

平成23年4月に100歳の誕生日を迎えた人は、浅田勝次さん(馬出町)と堀まさのさん(国下町)。2人の誕生日はなんと同じ日。明治44年4月11日生まれ。2人とも本当に元気で過ごしている。お互いの誕生会では、浅田さん、堀さんがいることで場が和み、集まった人たちを明るくさせる雰囲気を出していた。

～おふたりのコメント～

浅田さんは感極まって涙を流し、隣にいる奥さんに励まされながら「ありがとう」と感謝の気持ちを話してくれた。

堀さんは「100歳になって、こんなにたくさんの人にお祝いしてもらったので、これからもまだまだ生きられるような気がする」と恥ずかしそうに話してくれた。



浅田 勝次さん